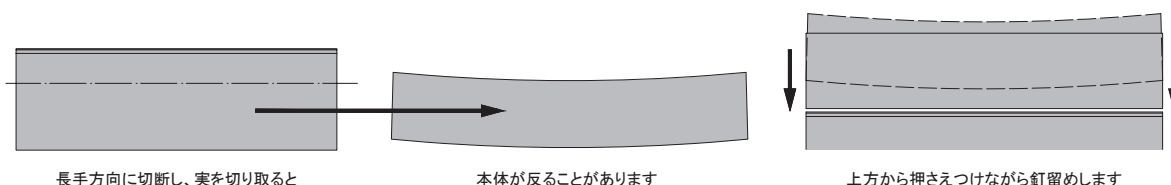


1 センターサイディング標準施工法

1-7 センターサイディング施工上の注意事項

- 横張り時、軒天部で最上段のセンターサイディングは軒天までの寸法にあわせて長手方向に切断し、一旦見切縁などの奥(軒天側)まで差し込んでから、下段の本体に嵌合させます。
- 横張り時の軒天部など、センターサイディングを長手方向に切断すると本体が反る場合があります。施工の際は、本体の上部から下部へと押さえつけながら、胴縁に表面から釘留めしてください。釘頭は補修塗料で補修してください。



- 縦張り時、張り始めと張り終わりで本体の倒れを防止するため、必要に応じて先付け付属部材と本体裏面との間に調整材(合板などの小割りにして現地加工したもの)を入れます。
- 縦張り時、張り始めと張り終わりは胴縁に表面から釘留めし、釘頭を補修塗料で補修してください。表面留めの釘はP35をご確認ください。

6)M型スマートフラットの施工上の注意事項

M型スマートフラットは表面が平滑な製品です。日光の当たり方や見る角度により、表面のゆがみ等が目立つ場合があります。

また、下記事項をご確認いただき、十分に注意してお取り扱いください。

- 本体の取り扱い時は、きれいな手袋を着用し汚れや傷がつかないようにしてください。
- 本体の運搬時は、傷がつかないように丁寧に取り扱いください。切り欠いた本体を運搬する際は、本体のゆがみや折れを防止するため合板や胴縁などで補強して運んでください。
- 本体を施工する前に、胴縁の不陸が施工基準通りか確認し調整してください。不陸部分が目立つなど外観の見栄えに影響します。不陸の基準は下記の通りです。
 - ・目通りずれ2mm以内(木造下地・鉄骨下地)
 - ・ジョイント部のずれ 1.5mm以内(木造下地・鉄骨下地)
- 事前に割り付けを行い施工してください。切り欠き加工の際は、切断部分を正確に測って切断し、無理なはめ込みは避けてください。表面材に無理な力がかかるとゆがみの原因となります。
- 本体の両側からの切り欠き加工は行わないでください。本体の強度が低下し変形するおそれがあります。
- 本体表面から釘留め・ビス留めする部分は、先孔を開けてから本体表面に負荷のかからないように留め付けてください。
- 開口部周囲は廻り縁仕様で納めます。廻り縁仕様の詳細は、P69～74をご確認ください。
- 補修の際は必要最小限の範囲で塗布してください。補修部分は目立つため、補修塗料を塗り広げずに最小限の範囲で丁寧に塗布してください。大きな傷の場合は補修塗料による補修は行わず本体の張り替えをお勧めします。